地域スポーツクラブ活動体制整備事業
地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県

自治体の課題、現状

- 県内中学校の生徒数は、平成元年度に166,000人であったが、徐々に 減少が続き、令和7年度には92,000人となった。
- 地域スポーツクラブへの所属状況は、平成20年度の男子12.1%・女子7.1%に対し、令和7年度は男子39.3%・女子26.0%であり、地域スポーツクラブでの活動が増加傾向にある。
- 協議会の設置状況については、政令市を除く県内33市町のうち、既に29市町において設置済みであり、それぞれの実情に応じ、取組および検討が進められている。

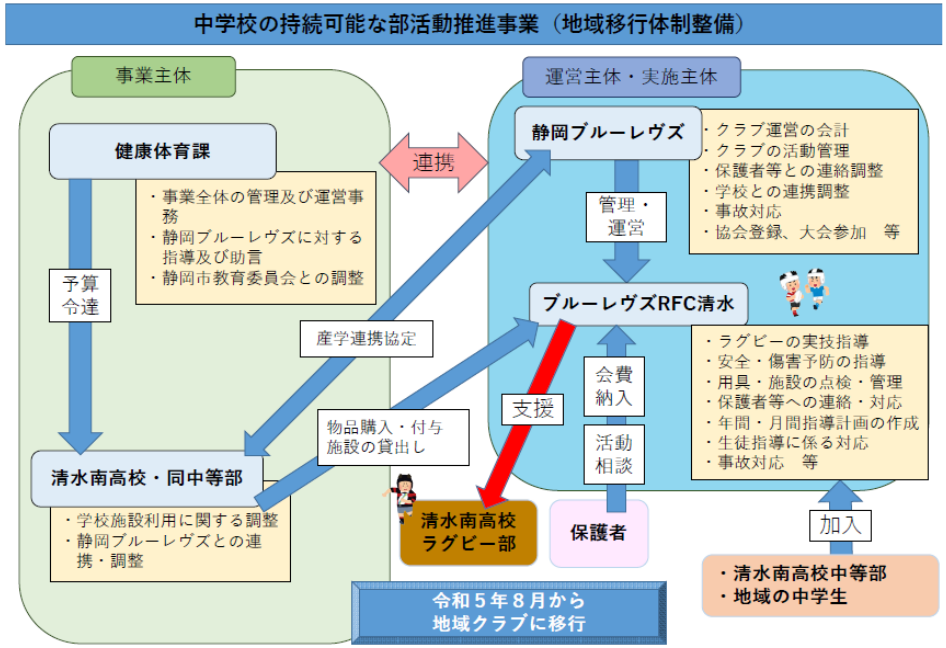
地域クラブ活動等の概要

中学校数	1校	全生徒数	292人
域内の部活動数	17部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	2人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	株式会社静岡ブルーレヴズ		
主な種目	ラグビー		
平均的な活動回数	12回/月	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：1人/クラブ 1年：0人/クラブ
参加会費	7,700円/月	主な活動場所	清水南高校

取組の概要や成果

- 県内全35市町を対象とした「部活動の地域連携・地域クラブの在り方等協議会」を開催し、国の動向および県方針についての共通理解を図るとともに実践研究を行う10市町の取組内容および成果と課題の共有、意見交換、有識者による指導助言等を実施した。
- 協議会の開催にあたり、政令市を除く33市町を対象とした「部活動の地域連携等に関する取組状況調査」を実施し、結果を各市町間で共有することにより、県内における進捗状況や各市町が抱える課題等の把握と共有を行った。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県　沼津市

自治体の課題、現状

- 少子化及びそれに伴う学校の小規模化の進行は本市も例外ではなく、学校単位による活動は限界を迎えている。
- こうした状況の中、令和6年5月に「部活動地域移行取組方針」を策定。地域展開目標年度を休日部活動は令和10年夏、平日部活動は令和13年夏とし、これに向けて取組を進めている。
- 本事業の取組項目ごとに複数の課題があるなど、懸案は山積している。また、種目により環境が大きく異なるため、地域展開はその種目の状況に応じ丁寧に進めていく必要がある。

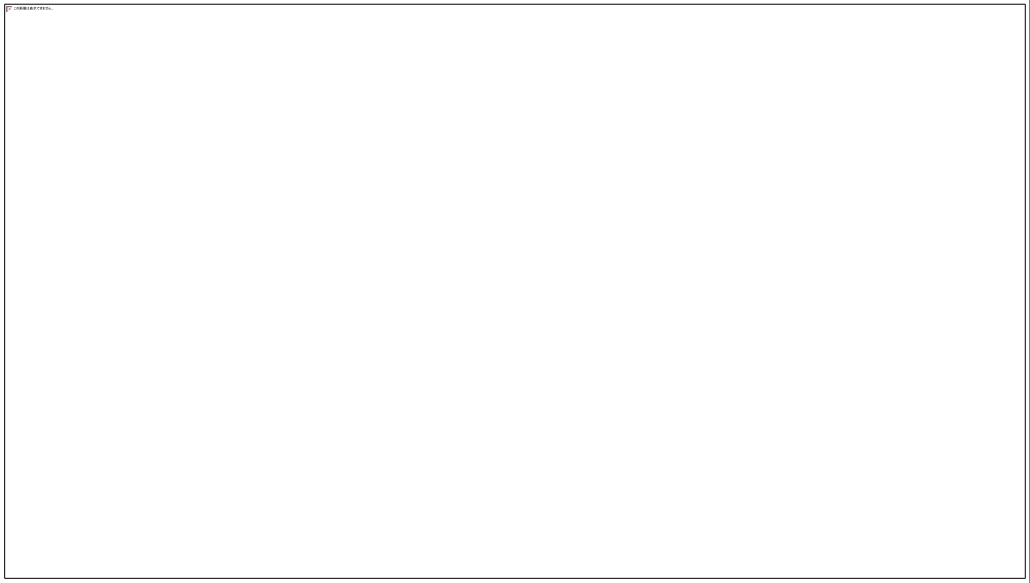
地域クラブ活動等の概要

中学校数	18校	全生徒数	3,973人
域内の部活動数	134部（161部）	実施した地域クラブ数	14クラブ
全体の指導者数	45人	全体の運営スタッフ数	57人
主な運営団体	沼津市スポーツ協会、各競技団体、民間クラブ・事業者		
主な種目	野球、サッカー、剣道、ソフトテニス、マルチスポーツ		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：2.2人 2年：18.3人 1年：12.6人
参加会費	300～3,300円/月	主な活動場所	中学校グラウンド・体育館

取組の概要や成果

- 令和5年から取組に着手。協議会の設置、コーディネーターの配置等を行い、まずは地域クラブ活動の実証事業を始めた。
- 令和7年は「サッカー」「陸上」の2種目の休日地域展開を実施。この2種目において地域クラブ活動「ヌマカツ」がスタートした。
- 「ヌマカツ」の活動開始に合わせ、クラブの創設や運営を支援する「ヌマカツ推進事務局」を沼津市スポーツ協会に委託し設置。
- 同時に「ヌマカツ」及びこれに準ずる「ヌマカツプラス」の登録要件を定め、登録クラブを募集。34クラブ活動が令和8年4月から活動を開始する。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県富士市

自治体の課題、現状

【現状】

・令和8年3月「富士市部活動地域連携・地域移行（地域展開）推進に関する基本方針（案）」策定に向けて、パブリックコメントを実施した。

・令和8年度の中体連総合体育大会後、準備が整った種目・活動から休日の部活動の地域展開を目指して体制を整備している。（主として野球、サッカー、剣道）

【課題】

・地域クラブ化に向けて、準備が進んでいる種目・活動と、準備が進んでいない種目・活動がある。（体制整備に差がある）

地域クラブ活動等の概要

中学校数	15校	全生徒数	6,162人
域内の部活動数	179部	実施した地域クラブ数	5クラブ
全体の指導者数	44人	全体の運営スタッフ数	10人程度
主な運営団体	各競技協会・連盟・民間事業者		
主な種目	3×3、卓球、陸上、バスケットボール、ゴルフ		
平均的な活動回数	2回/年	年間平均参加生徒実数	2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	500～1,000円/回	主な活動場所	市内中学校 民間事業者会場

取組の概要や成果

・「実証的モデル事業」の実施

スポーツ：3×3、卓球、陸上、バスケットボール、ゴルフ

・「富士市立中学校部活動地域移行協議会」の開催

当市の部活動地域連携・地域移行の方向性を協議

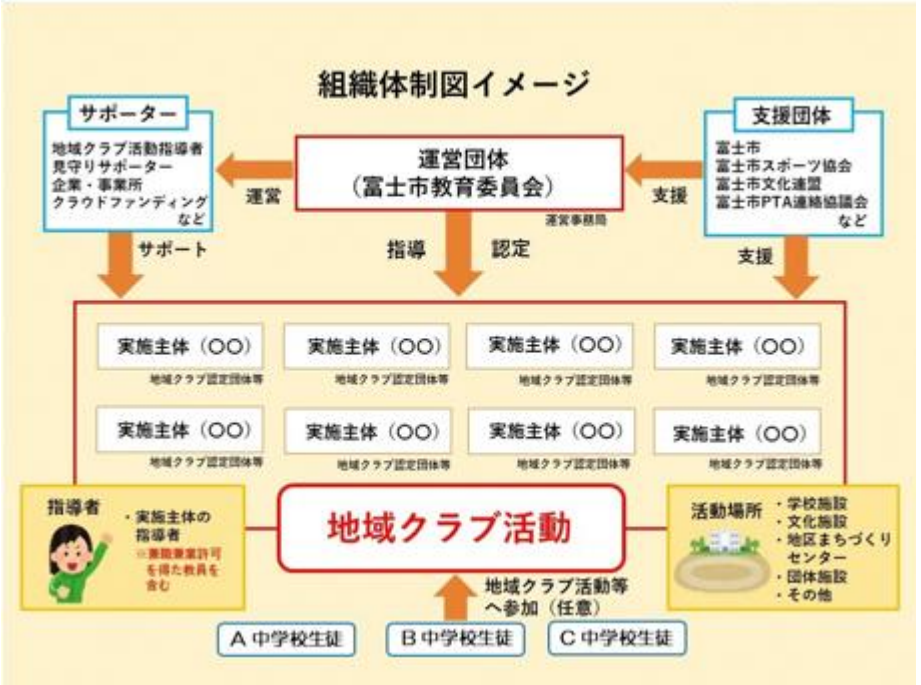
・「部活動地域連携・地域移行つうしん」の発行

実証的モデル事業の案内、協議会の協議事項等について周知

・「各種目・活動団体とのヒアリング」の実施

様々な団体と積極的に地域クラブ活動について打合わせを実施

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県磐田市

自治体の課題、現状

磐田市では、令和6年度より地域団体からの参画・協力を得て、地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA（スポカル イワタ）」の活動をスタートさせた。
今年度はスポーツ11クラブで活動を行い、多くの生徒が活動に参加した。
また、部活動にある種目については、令和8年度9月のスタートに向けて指導者の募集を行い、100名を超える指導者に応募していただいた一方で、種目によって指導者の数に偏りもあった。生徒や保護者、地域に対して事業の説明を継続して行ってきており、認知や理解が広がってきている。

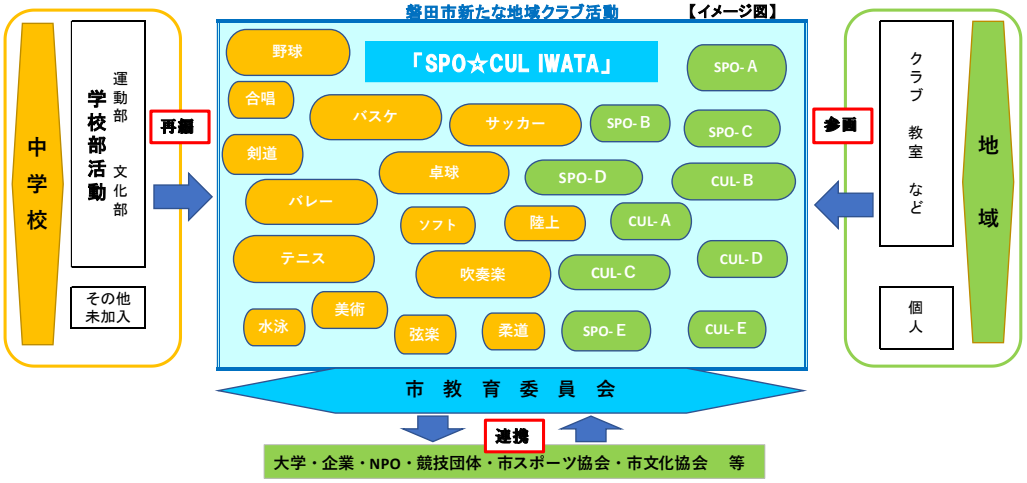
地域クラブ活動等の概要

中学校数	10校	全生徒数	4,339人
域内の部活動数	98部	実施した地域クラブ数	11クラブ
全体の指導者数	48人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	磐田市教育委員会放課後活動課		
主な種目	ボクシング、バドミントン、サッカー、剣道、ダンス、極真空手、空手、ゴルフ、ラクロス、トランポリン、ソフトテニス		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：1.1人/クラブ 2年：4人/クラブ 1年：7.5人/クラブ
参加会費	2,000円/月 2,500円/月 一部活動費を徴収するクラブもあり	主な活動場所	学校体育施設 市内公共施設 クラブ所有施設

取組の概要や成果

○ 令和7年度は、前年よりも３クラブ増えて11クラブで活動を行った。
○ 5月と1月に指導者研修会を実施した。
○ 部活動からの再編型クラブの指導者募集を行い、12月末時点で121人の指導者から応募をいただいた。
○ 部活動地域移行推進協議会を3回開催し、意見交換を行った。
○ 令和8年度の休日の地域展開に向けて、部活動からの再編型クラブの　在り方について、中学校長や登録していただいた指導者と意見交換の場を設けた。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県焼津市

自治体の課題、現状

焼津市の地域クラブについて、令和7年度は24種目34クラブで活動した。その内スポーツ系は、17種目27クラブである。令和8年度には1クラブ（綱引き）拡大して実施する準備を整えた。持続可能な地域クラブ活動にするために以下の課題が挙げられる。

(1)指導者・運営代表者の確保

(2)活動場所の確保、学校以外の公共施設の地域クラブでの活用

(3)活動資金の確保

(4)中体連やその他各種協会連盟主催の大会の参加規定等との関連

地域クラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	3,315人
域内の部活動数	11部	実施した地域クラブ数	27クラブ
全体の指導者数	136人	全体の運営スタッフ数	136人
主な運営団体	各地域クラブ		
主な種目	柔道、剣道、相撲、ニュースポーツ、海洋体験、陸上競技、ソフトテニス、卓球、水泳、トランポリン、レスリング、eスポーツ、バレーボール、サッカー、軟式野球、バスケットボール		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：10人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	平均2,700円程度/月	主な活動場所	市内中学校

取組の概要や成果

- 焼津市地域クラブ活動在り方検討委員会を年4回実施し、地域クラブ活動の方向性を検討している。令和7年度までに休日の移行を完了し、現在は令和10年度の完全移行を目指して、平日の移行に向けて協議をしている。
- 焼津市地域クラブ活動連絡会と指導者研修会を実施し、クラブの横の連携を図るとともに、活動の充実に向けた協議を行うことができた。
- 市内小学校全校を訪問し、地域クラブについて保護者・6年生への周知を図った。その後各クラブへの体験や見学者数が増えている。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県掛川市

自治体の課題、現状

本市においては、人口減少とともに生徒数も減少傾向にあり、10年後には約20%も減少する見込みである。また、市内の中学校においては、規模の小さい郊外の学校ほど減少が大きく、予測では約50%減少する学校もある。また、令和7年度においても、複数校において単独のチームを編成することができず、日々の練習、大会やコンクール出場が困難な状態である。そのため、令和8年夏に市内の全9中学校の全部活動の活動を終了し、その際、子どもが多種多様なスポーツ・文化芸術活動の機会を選択できるよう、様々な地域団体等が運営する「かけがわ地域クラブ」の創設を目指している。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	9校	全生徒数	3,205人
域内の部活動数	97部	実施した地域クラブ数	27クラブ
全体の指導者数	約100人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	掛川市スポーツ協会		
主な種目	軟式野球、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン等の体験会		
活動回数	平日25回 休日27回	年間参加児童生徒実数	1年：7人/クラブ 6年：10人/クラブ
参加会費	0円/月	主な活動場所	東中学校

取組の概要や成果

令和8年夏以降に設立される「かけがわ地域クラブ」においては、掛川市スポーツ協会が運営主体となる、部活動の受け皿となるクラブを中心とする28クラブが活動する予定である。今年度は、各種目において小学6年生と中学1年生を対象に体験会を実施した。実際に活動する会場や指導予定の指導者、活動する時間帯で行ったことにより、参加者の92%が「クラブ活動をイメージすることができた」と回答している。

また、現在、部活動を行っている平日の放課後の在り方についても検討しており、本市では放課後マルチスポーツ活動の実証研究を令和5年度から実施している。今年度は、参加生徒の志向を事前に調査した後、約3ヶ月間の継続実施で、市内の2中学校、のべ119人がダンスやピックルボール等を体験した。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県藤枝市

自治体の課題、現状

- 学校規模が大きく異なり、小規模校では部活動の選択肢が少ない。エリア制合同部活動で対応し、少しずつ加入する生徒が増えてきた。
- 種目等により部員数に大きな差があり、生徒を中心に考えると、一律一斉の改革推進は難しく、時間をかけて足並みをそろえていくことが必要となる。
- 地域にクラブ運営の主体となる企業や団体が非常に少ない。指導者や保護者、協力者が複数人でクラブ運営をスタートする等で対応を考えている。
- 兼職兼業での教員のクラブ指導は、勤務校エリアや居住地エリア等の希望があり、部活動とクラブの併存や人事異動を考えると調整が必要である。

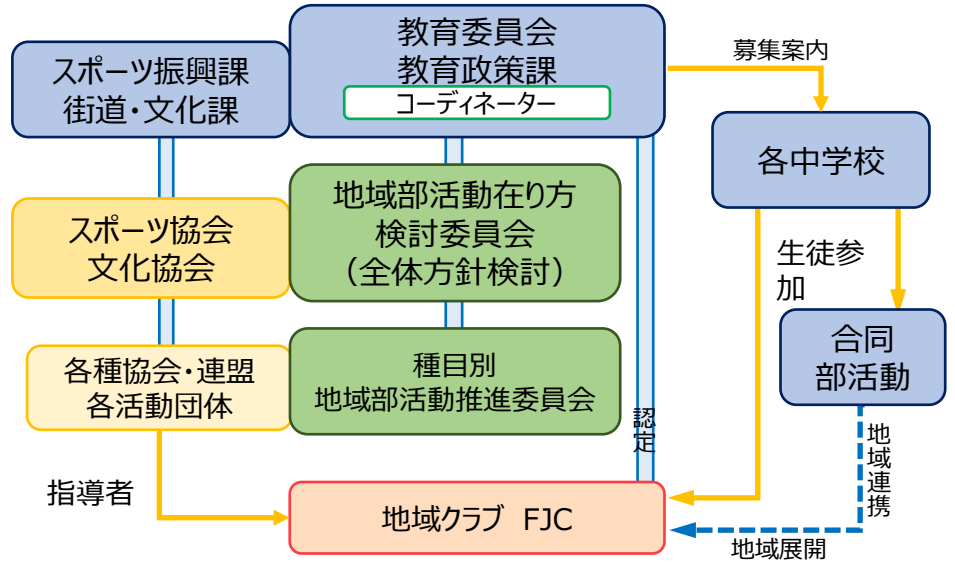
地域クラブ活動等の概要

中学校数	10校	全生徒数	3,727 人
域内の部活動数	エリア部活動　17部 学校部活動　50部	実施した地域クラブ数	7クラブ
全体の指導者数	35人	全体の運営スタッフ数	5人
主な運営団体	既活動団体		
主な種目	柔道、バレーボール、陸上競技、ダンス		
平均的な活動回数	3回/週	年間平均参加生徒実数	3年：2人/クラブ 2年：3人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	3,000円/月程度	主な活動場所	中学校 市等の公共施設

取組の概要や成果

- 地域部活動在り方検討委員会を昨年度に引き続き実施し、部活動の地域展開の市の方針や計画・方策等について話し合うことができた。
- 種目別推進委員会では、種目ごとの状況の違いに応じた部活動の地域展開について、問題点等を具体的に話し合うことができた。
- 運動部活動については、第1段階のエリア制合同部活動を進め、35部が17エリア部活動となった。それ以外の部は、エリアで合同練習等を行い準備を進めている。第2段階の休日の地域展開、第3段階の平日の地域展開に向けて、令和10年全部活動のエリア化、令和9年休日の地域展開モデル実施を準備している。
- 部活動に無い種目については、セントラル制地域クラブを14クラブ認定し、7クラブが活動を開始し、指導者研修会を1回実施することができた。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県裾野市

自治体の課題、現状

令和7年1月にNPO法人アクティブすそのを立ち上げ、部活動コーディネーター2人と行政で休日の地域展開を進めてきた。陸上競技については令和7年の夏以降より休日の地域展開を進めている。地域展開を進める上で、保護者の送迎負担や地域クラブ指導者の謝金の確保等の課題があり検討を進めている。令和8年度より学校部活動が16時30分までになり、平日にもっと活動を望む声が多くあり、平日の地域クラブ活動の必要性が出ておりサッカー・野球・陸上で試行的に行っている。令和13年夏以降に平日の部活動も地域クラブへ展開する。

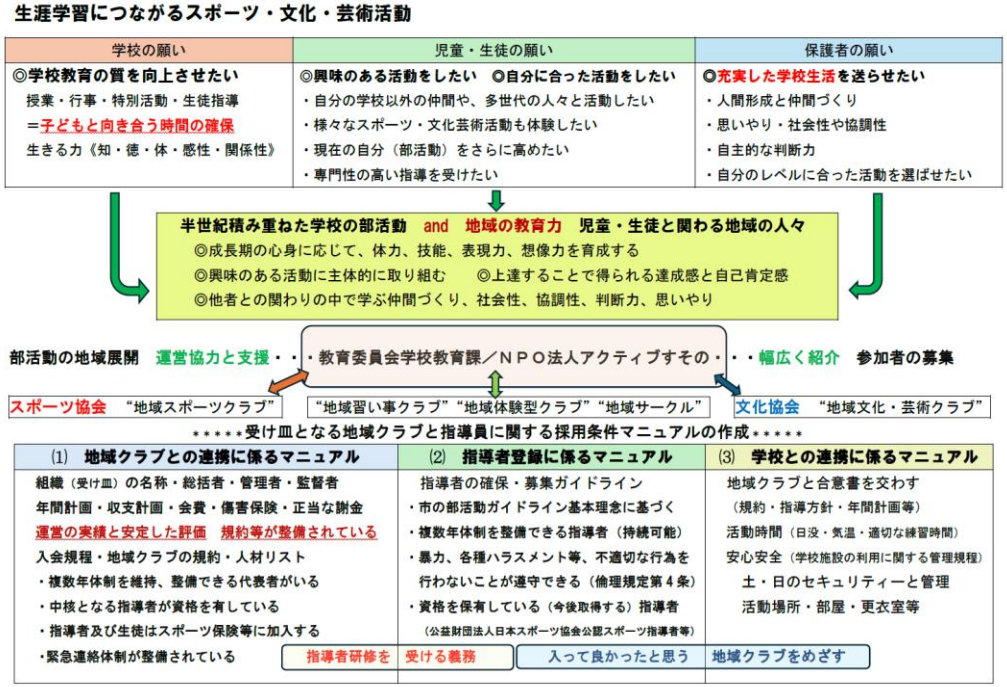
地域クラブ活動等の概要

中学校数	5校	全生徒数	1,286人
域内の部活動数	47部	実施した地域クラブ数	5クラブ
全体の指導者数	8人	全体の運営スタッフ数	2人
主な運営団体	NPO法人アクティブすその、地域スポーツクラブ		
主な種目	卓球、女子ソフトテニス、男子バレー、サッカー、野球		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：7人/クラブ 2年：8人/クラブ 1年：6人/クラブ
参加会費	2,000円/月	主な活動場所	裾野市陸上競技場 各中学校体育館・グラウンド・テニスコート

取組の概要や成果

- 広報活動：市の広報誌やNPO法人アクティブすそのHPを使い情報発信。いくつかの地域クラブが誕生
- 財源の確保：行政と将来を見通した話し合いを持ち、市長戦略の1つに。一定期間の援助を取得。（コーディネーター謝金、地域クラブ指導者謝金、地域クラブへの補助）
- アプリの使用：練習計画連絡、出欠管理、集金、複数の学校で対応可
- 複数の部活動の休日の地域展開の実証：卓球、女子ソフトテニス、男子バレー、サッカー、野球

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県伊豆市

自治体の課題、現状

本市においては、2校（義務教育学校1校含む）の公立中学校があり、生徒数485人で17部活が活動している。部活動の半数以上は複数校（他市町含む）での合同部活動で形成され、生徒数・教員数の減少も進んでいる。今後も民営クラブチームの増加が見込まれる中で、生徒の部活動を含めた放課後活動に著しい格差が生まれないよう、生徒が希望する活動を継続して行える体制構築に向け、スポーツ活動の見直しや環境整備が必要である。

地域クラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	485人
域内の部活動数	17部	実施した地域クラブ数	いずローカルクラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	1人
主な運営団体	民間事業者		
主な種目	ネット型スポーツ（ミニテニス、ソフトバレーボール、バドミントン、ソフトサッカー）		
平均的な活動回数	3回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：5人/クラブ 1年：2人/クラブ
参加会費	無料	主な活動場所	伊豆中学校 土肥小中一貫校

取組の概要や成果

【取組の概要】

○ 当面継続見込の学校部活動との競合を避けるため、部活動外の活動・日時を設定し、全生徒が参加可能とした。

○ 生徒が「ゆるく楽しめるクラブ」とするため、全校生徒に希望種目を調査しニーズに応じたメニューを決定・実施した。

【成果】

○ 参加者の実施後調査ではいずれも満足度は高かったことから、今後の放課後活動の一つとして持続可能な運営体制を整えていきたい。

○ クラブの存在や活動内容が明確に伝えられなかった反省をふまえ、今後のPR活動を見直していく。



土肥小中一貫校での活動の様子

運営体制図

学校
伊豆中学校
土肥小中一貫校

いずローカルクラブ
【スポーツクラブ：9月～12月】
※部活動ではない“ゆるクラブ”
－いつからでも参加OK－
・ミニテニス
・ソフトサッカー、バレーボール
・バドミントン

事業者(運営主体)
スキルを活かした
クラブ運営・スタッフ派遣等

業務委託

伊豆市
（教育部社会教育課）

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県菊川市

自治体の課題、現状

生徒数の減少に伴い、一部の部活動では人数が足りず十分な活動ができていない。また、学校によって部活動が無い種目があり、やりたいことを選べない生徒も存在する。令和5年12月より「菊川市未来の部活動在り方検討会」を発足し、休日の地域展開については、令和10年８月末の完了を目指し、協議している。「改革」「選択」「多様性」をキーワードに菊川市の実態に合った持続可能な地域クラブの在り方を検討している。

＜課題＞

指導者・運営代表者の確保、活動場所の確保・調整、活動資金の確保

地域クラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	1,275人
域内の部活動数	32部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	12人	全体の運営スタッフ数	2人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ　アプロス菊川		
主な種目	陸上競技		
平均的な活動回数	8回/月	年間平均参加生徒実数	3年：6人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：13人/クラブ
参加会費	1,500円/月	主な活動場所	炭焼きさわやか菊川グラウンド

取組の概要や成果

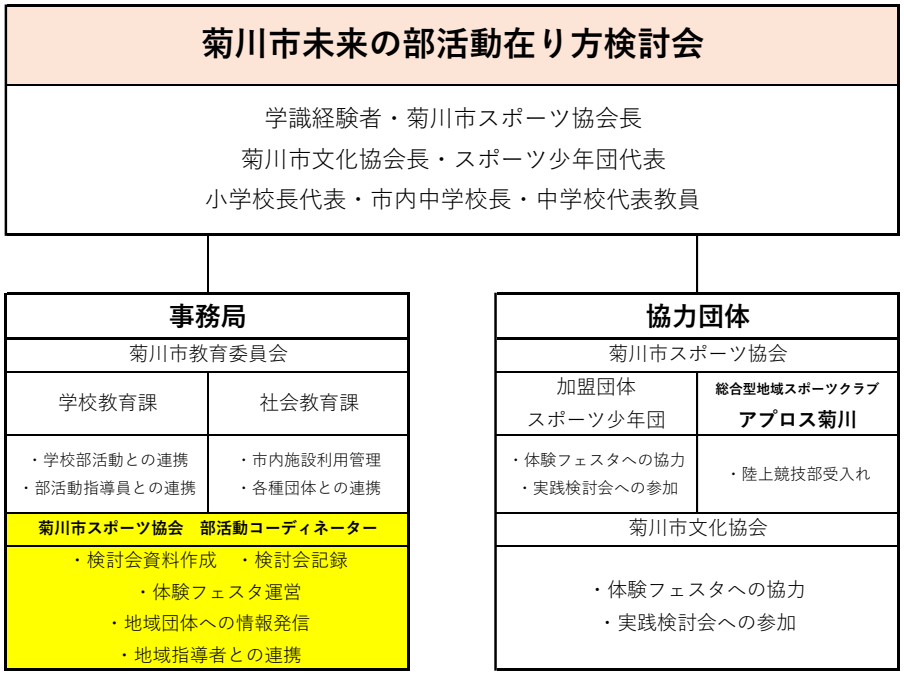
① 菊川市未来の部活動在り方検討会を年７回実施し、今後の地域クラブの在り方を検討するとともに、菊川市公認地域クラブ取扱いガイドラインを制定した。

② 種目別の専門部会（陸上競技、剣道、卓球）を年８回実施し、休日の地域展開の方法について検討した。

③ 陸上競技部において、アプロス菊川を受け皿に休日の地域展開を開始した。

④ 公認地域クラブ体験フェスタを開催し、６団体が体験会を実施した。

運営体制図



地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

令和7年度 **成果報告書** 概要

静岡県川根本町

自治体の課題、現状

一番の課題は、指導者の確保である。また、指導者の都合に合わせて活動計画を作成するため、指導者が来られない活動日には見守りサポーターに依頼をしている。そのため指導者とサポーターのスケジュールの調整が必要となり、その点においても課題となっている。

現在は、令和8年度から本格実施する種目の指導者の確保が課題として挙げられる。また、事務局（教育委員会）と委託先と学校で行うあらゆる調整についても困難である。今現在、委託団体での運営が軌道に乗っていないため、教育委員会と協力して運営を行っており、今後、徐々に委託団体が中心となって運営を行っていけるようにしたい。

地域クラブ活動等の概要

学校数	義務教育学校2校	全児童生徒数	227人
域内の部活動数	7部活動	実施した地域クラブ数	新規1クラブ
全体の指導者数	5名（指導者） 6名（見守りサポーター）	全体の運営スタッフ数	4名
主な運営団体	NPO法人　かわね来風		
主な種目	総合型スポーツクラブ（バスケットボール、バドミントン）		
平均的な活動回数	17回/月	年間平均参加生徒実数	19名
参加会費	2,000円/２種目+保険 ※試行のため	主な活動場所	三ツ星学園体育館

取組の概要や成果

令和8年度からの地域スポーツクラブの本格実施に向けて、令和７年10月より総合型スポーツクラブを試行スタートした。今年度は、バスケットボールとバドミントンを3か月ずつ活動している。地域の指導者の元、子供たちは初めて本格的に取り組むスポーツに熱心に取り組んでいる。加入した子供たち全員が総合型スポーツクラブのように、いろんな種目に親しむことができることに対して肯定的である。

令和8年度からは、ダンス・卓球・水泳・バレー・バスケットボール・バドミントンの活動を年間を通じて行うこととしている。（一部選択制）指導者の確保等課題はあるが、委託団体と協力して運営していく方針である。

運営体制図

